

サンフロンティア不動産

Sun Frontier Fudousan Co., Ltd. Business Report

第18期 株主通信

2016年4月1日～2017年3月31日



証券コード:8934



SUN FRONTIER

私たちは、

“世界一お客様に愛され、
選んでいただける不動産会社”

を目指しています。



第18期の総括

6期連続増収・経常増益を達成

株主の皆様におかれましては、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

2017年3月期の連結業績は、売上高40,394百万円(前期比31.9%増)、営業利益9,380百万円(同27.0%増)、経常利益8,894百万円(同26.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6,452百万円(同20.9%減)となりました。おかげさまで経常利益は過去最高益となり、6期連続の増収・経常増益となりました。これもひとえに株主の皆様のご温かいご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

配当につきましては、前期に比べ1株当たり5.0円増額の30.0円とさせていただきますことになりました。

株主優待制度を導入

この度、株主の皆様の日頃のご支援に心から感謝し、株主優待制度を導入することといたしました。本年4月28日に開業いたしました、当社グループ初となる自社ブランドホテル「日ひ和わホテル舞浜」にご宿泊いただき、当ホテルのテーマである、「心温かいホテル」をご体感いただけますと幸いです。

ストック型ビジネスを強化

当社グループは中長期的に安定した成長を遂げるために、①フロー型ビジネスで基盤をつくり、ストック型ビジネスを拡大していく、フローとストックの両足で

立つ収益構造への転換、②都心オフィスに特化した事業領域を深掘りするとともに、将来の成長市場であるホテル事業、海外事業への参入、③ビジネスとは他を利することであり、「お客様視点」に基づく真の不動産プロフェッショナル人材の育成と増強、に取り組んでいます。

「物件にフォーカスするのではなく、お客様にフォーカスする」。一つ一つの物件取引重視ではなく、お客様に寄り添い、細かなお困りごとと解決に真摯に取り組み、長年のお付き合いで信頼残高を積み上げ、永続的に当社グループのお客様となっただけでなく、当社グループのストック型ビジネスの目指すものです。そして、ストック型ビジネスを強化させることにより、将来的な「安定力・収益力・成長力」のある企業をつくり上げてまいります。

社員の結束力が付加価値の源泉

当社グループの強みは「利他」の価値観の下で、フィロソフィをベースとした心の絆で結ばれた社員の結束力にあります。各々の専門性を持ち寄り、各々が「お客様視点」を軸に生み出す付加価値を連鎖させることにより、高い付加価値を実現してまいりました。今後、一段の成長を目指し、多くの有能な人材を迎え入れ、このフィロソフィをベースとした強い絆で結ばれた結束力を礎に、真の不動産プロフェッショナル集団を構築してまいります。

今後とも倍旧のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2017年6月
サンフロンティア不動産株式会社
代表取締役社長 塚口智顕

連結業績ハイライト

(2016年4月1日~2017年3月31日)

売上高

403 億円

前期比 31.9%増

営業利益

93 億円

前期比 27.0%増

経常利益

88 億円

前期比 26.6%増

親会社株主に帰属する当期純利益

64 億円

前期比 20.9%減

重視する経営指標

経常利益率

22.0%

自己資本比率

56.0%

<目次>

株主の皆様へ 1

経営方針とビジネスモデル 3

事業別Topics

オフィスビル事業 4

ホテル事業 5

海外事業 6

■特集

アクティブに挑戦した

2017年3月期の主なニュース... 7

成長戦略 11

2018年3月期の業績予想 12

業績情報

事業別概要 13

財務ハイライト 14

会社情報 裏表紙

サンフロンティアのビジョン・方針

ビジョン

「不動産活用のプロフェッショナル」として
“世界一お客様に愛され、選んでいただける不動産会社”を目指します

お客様

ビルオーナー様・資産家・富裕層

本業

不動産再生と活用

方針

物件でなく人にフォーカス
お客様視点を買き、お困りごとを解決する

戦略

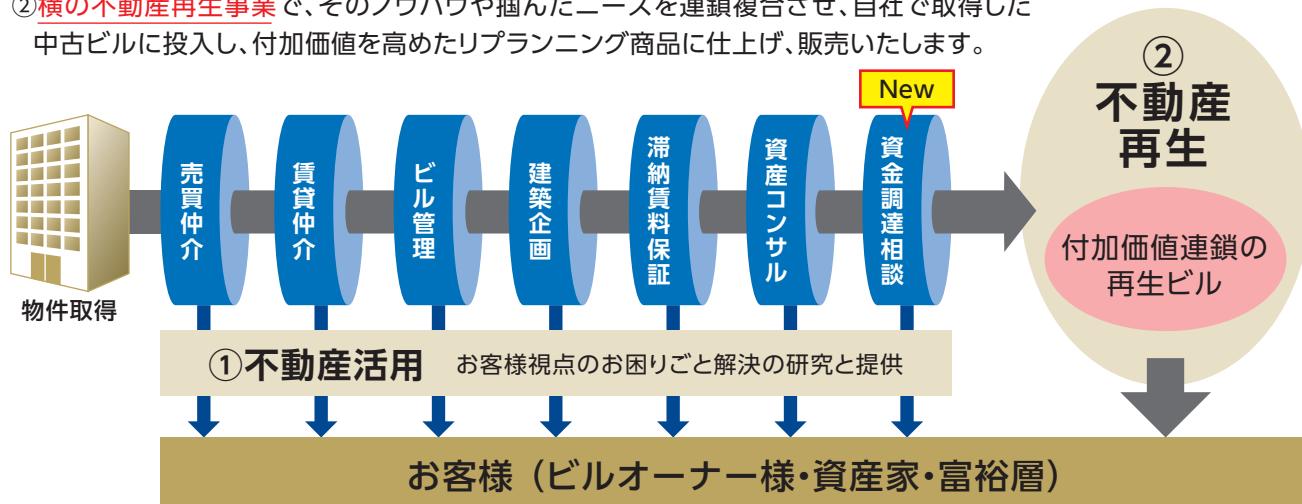
都心 オフィス

強み

テナント斡旋力 不動産再生力 オペレーション力

オフィスビル事業のビジネスモデル

- ① 縦の不動産活用事業で、お客様の声からお困りごとを現場で研究・解決し、
- ② 横の不動産再生事業で、そのノウハウや掴んだニーズを連鎖複合させ、自社で取得した中古ビルに投入し、付加価値を高めたリプランニング商品に仕上げ、販売いたします。



ホテル事業の
テーマ

『心温かいホテル』

- ①お客様視点で従業員によって成長するホテル
- ②地域の文化と歴史を大切に、その魅力を掘り起こすホテル
- ③上質で心地よいプライベート感のあるホテル

ホテル
ニュース

ひより 自社ホテルブランド「日和ホテルズ&リゾート」が誕生

2017年3月、当社グループ初となる**自社ホテルブランド『日和ホテルズ&リゾート』が誕生**いたしました。「日和」ブランドは、「都市型ホスピタリティホテル」として、国内はもとより、世界中から観光やビジネスで訪れるお客様に、快適にゆったりとご利用いただけるよう、日本のおもてなしとその地域ならではの雰囲気、文化を体感していただける家庭的なサービスで**『心温かいホテル』を目指します。**

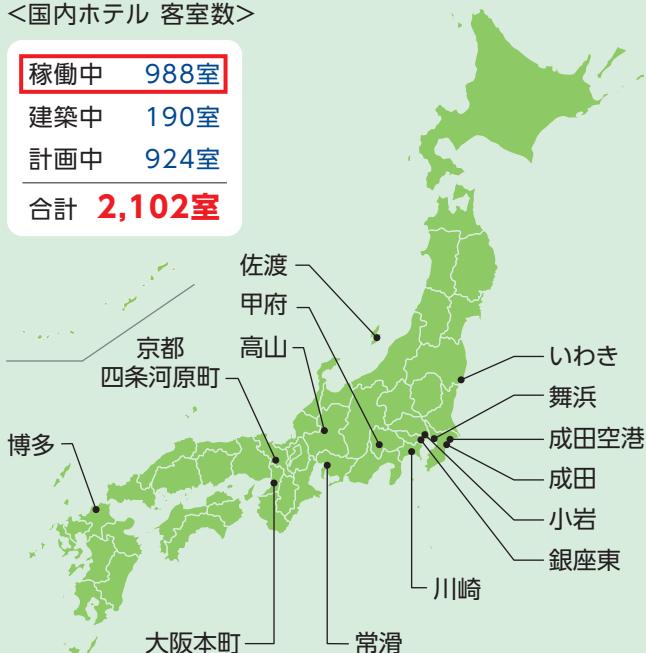
2017年4月28日、**第1号となる『日和ホテル舞浜』を開業**いたしました。（『日和ホテル舞浜』についてはP.10をご覧ください。）



HIYORI
HOTELS & RESORTS
〈ブランドロゴ〉

<国内ホテル 客室数>

| | |
|-----|---------------|
| 稼働中 | 988室 |
| 建築中 | 190室 |
| 計画中 | 924室 |
| 合計 | 2,102室 |



<国内ホテル 一覧>

| 現状 | 開業 | ブランド | 物件所在地 | 客室数 |
|-----|---------|------|---------|-----|
| 賃貸中 | — | 他社 | いわき | 150 |
| 運営中 | 2016年4月 | 共同 | 常滑 | 194 |
| 運営中 | — | 自社 | 川崎 | 200 |
| 運営中 | — | 自社 | 小岩 | 105 |
| 運営中 | — | 自社 | 成田 | 100 |
| 運営中 | — | 自社 | 博多 | 159 |
| 運営中 | 2017年4月 | 自社 | 舞浜 | 80 |
| 建築中 | 2017年7月 | 他社 | 甲府 | 190 |
| 計画中 | 2018年4月 | 自社 | 高山 | 80 |
| 計画中 | 2018年上期 | 自社 | 銀座東 | 137 |
| 計画中 | 2018年上期 | 自社 | 佐渡 | 115 |
| 計画中 | 2018年上期 | 未定 | 成田空港 | 210 |
| 計画中 | 2018年下期 | 自社 | 大阪本町 | 193 |
| 計画中 | 2019年上期 | 自社 | 京都四条河原町 | 189 |

(注)スケジュール・規模等は現在の計画であり、今後変更となる可能性があります。

海外事業の
理念

『アジアの人々を幸せに、
同志と共に』

成長著しい東南アジアの大都市に進出し、現地の人々の幸福と繁栄に貢献する

海外事業
について

アジアの投資受け皿企業を目指しています

海外事業はその理念を『アジアの人々を幸せに、同志と共に』と定め、海外富裕層のインバウンド投資を促してアジアの成長を東京に取り込み、同時に、成長著しい東南アジアの大都市へ進出し、アウトバウンド事業を展開することで、現地の人々の幸福と繁栄に貢献することを目指しています。

2016年8月にベトナムの中部最大都市ダナンで当社グループ初となる海外第1号ホテル『The Blossom City』を開業するとともに、2017年6月には28階建の分譲マンション『HIYORI Garden Tower』の開発に着工いたしました。また、インドネシアの首都ジャカルタでは2016年12月にはサービスアパートメント『京 Serviced Apartment』の運営を開始し、その他にも都市型分譲戸建住宅の建築を進めています。(各海外案件についてはP.7～10をご覧ください。)

<アウトバウンド案件>



★ ベトナム案件 一覧

| 現状 | 開業 | 所在地/用途 | 規模 |
|-----|-------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 運営中 | 2016年 8月 | ダナン ホテル 『The Blossom City』 | 45室 |
| 建築中 | 2019年 上期 | ダナン 分譲レジデンス 『HIYORI Garden Tower』 | 306戸 |
| 計画中 | 未 定 | ダナン 複合施設 | ホテル・ SA156室 +レジ229戸 +店舗 |

※SA…「サービスアパートメント」。ホテルのようなサービスが受けられる家具付きマンスリーマンションのことです。

■ インドネシア案件 一覧

| 現状 | 開業 | 所在地/用途 | 規模 |
|-----|-------------|---------------------------------------|-----|
| 完 売 | — | ジャカルタ 戸建分譲 | 5戸 |
| 建築中 | 2017年 9月 | ジャカルタ 戸建分譲 『CASA EMERALD GANDARIA』 | 9戸 |
| 運営中 | — | ジャカルタ レジ+SA 『京 Serviced Apartment』 | 90室 |

(注)スケジュール・規模等は現在の計画であり、今後変更となる可能性があります。



4/1 京都大学経営管理大学院に寄附講座を提供

この度社会貢献活動の一環として、京都大学経営管理大学院にて寄附講座を開講いたしました。

本寄附講座の開設により、管理会計を中心とした経営管理専門家を養成することを通じて日本社会の健全な発展に貢献できることを期待しております。

また、2016年10月21日、代表堀口が京都大学大学院の学生へ向け『志こそ人生の道しるべ』と題した講演をいたしました。



京都大学大学院での講演の様子

8/1 海外第1号ホテルを開業 ～The Blossom City～

当社グループの海外第1号ホテルは、いま世界的に観光都市として熱い注目を浴びるベトナム中部の美しい街、ダナンに開業いたしました。水辺に佇む美しい眺望が臨める立地と、25㎡前後の広い客室、また日本風の独立した大きな浴室や、市内を一望できる最上階のレストラン&バーが特長です。足裏マッサージを無料で提供するなど、ベトナムの魅力と真心のこもった日本のおもてなしで、お客様に心からくつろげる清潔で快適なご滞在を約束します。



ハン川を臨む清潔な室内

2016年

4月

5月

6月

7月

8月

4/25 国内第1号ホテルを開業 ～スプリングサニーホテル名古屋常滑～

中国春秋グループの「上海春秋投資管理有限公司」と、同グループの日本のホテル事業におけるアライアンスパートナーとして提携し、共同ブランドである「スプリングサニー ホテルズ&リゾート」を立ち上げ、国内第1号ホテルを愛知県の常滑市に開業いたしました。

同ホテルは中部国際空港(セントレア)より電車で1駅の「常滑」駅前に位置し、「インバウンド向け都市型観光ホテル」として、中国をはじめとした多くの訪日客の皆様にご利用いただいております。

2016年2月に当社グループが運営を開始以降、設備のリニューアルを実施。春秋グループの集客力と日本への送客力に加え、『心温かいホテル』を目指した従業員の意識改革が奏功し、自主自発のサービス品質向上に向けた取り組みによって、客室稼働率は大幅に改善いたしました。さらに客室単価も向上したことで、売上高が大幅に増加し、ホテル運営事業の利益に大きく貢献しています。



オープニングセレモニー



畳敷きの廊下



和室



スプリングサニーホテル名古屋常滑

12/1 ホテル運営会社の株式を取得 ～ホテルスカイコート(川崎・小岩・成田・博多)～

子会社であるサンフロンティアホテルマネジメント株式会社を通じて、首都圏を中心に4棟(564室)のホテルを運営するスカイコートホテル株式会社の発行済株式を100%取得いたしました。

各ホテルの立地やグレードは、インバウンドツアー客や個人旅行者の取り込みにも適しており、今後は各ホテルの付加価値を高めることによってお客様に一層ご満足いただけるよう努めるとともに、収益性をさらに向上させ、当社グループの成長と発展に繋げてまいります。



ホテルスカイコート川崎



ホテルスカイコート成田

12/1 ジャカルタにてサービスアパートメントを 運営開始 ～京 Serviced Apartment～

ジャカルタにて、既存のサービスアパートメントを取得し、当社グループでの運営を開始いたしました。

サービスアパートメントとは、洗濯や掃除、朝食など、ホテルのようなサービスが受けられる家具付きマンスリーマンションのことで、インドネシアでは、駐在員がこのようなアパートメントに住むことが一般的とされています。

館内にはプールやジムが併設されており、現地スタッフの笑顔溢れるおもてなしや、シェフ自慢の和食など、ご利用のお客様にゆっくりとおくつろぎいただける空間を提供します。



清潔な室内



館内プール

9月

10月

11月

12月

11/25 ダナン大学の日本語習得講座を支援

人財育成を通じた社会貢献活動の一環として、日本とアジアの発展に資するグローバル人財の育成を企図し、国立ダナン大学に開設された日本語習得講座への支援を行いました。

本講座では、ベトナム・ダナンにおいて高度な専門分野を学ぶ学生に対し、言葉の障壁を乗り越える日本語能力の習得と日本文化の学習を強く支援し、元来勤勉実直で民族性が近いといわれるベトナムの方々に、日本企業で活躍できる言語能力を有する人財が増えてゆくことを目指してまいります。

当社グループはこのような支援活動を通して、日越両国の友好と社会の発展を支える企業市民として責任を果たしてまいります。



調印式の様子

12/15 「JPX日経中小型株指数」の 構成銘柄に選定

株式会社東京証券取引所と株式会社日本経済新聞社が共同で算出する「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄として選定されました。

「JPX日経中小型株指数」とは、中小型株のうち、資本の効率的活用や投資者を意識した経営を行っているなど、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される新しい株価指数です。東京証券取引所の市場第一部、市場第二部、マザーズ、JASDAQを主市場とする普通株式銘柄から選定された200銘柄で構成され、2017年3月13日より算出が開始されております。

当社グループは今後もお客様に寄り添い、不動産に関するあらゆるお困りごとと解決に取り組み、社員一丸となってお客様のニーズを研究し続け、最大限の付加価値を提供し、お客様満足度を高めていくことで、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。





1/5 ジャカルタにて分譲住宅が着工 ～CASA EMERALD GANDARIA～

世界第4位の人口を誇るインドネシア首都ジャカルタにおいて、都市型住宅9戸の着工をいたしました。

インドネシアの人口増加率は1.2%と高く、特に都市部の住宅の需給は極めて逼迫しており、住宅問題の解決は長期的且つ大きな問題となっている状況から、当社グループは住宅供給にかかる事業を通じて、インドネシアのさらなる発展に寄与する所存です。



完成予想パース

2/1 訪日外国人向けホステルが開業 ～Planetyze Hostel～

羽田・成田の両空港からダイレクトにアクセスできる「東日本橋」駅徒歩4分に位置するオフィスビルを購入し、不動産再生事業のノウハウを活かしたコンバージョンで訪日外国人向けの簡易宿所を開業いたしました。

コンセプトは「次の目的地が見つかる宿」。宿泊客の皆様に、日本各地の観光映像サイトや通訳案内士アテンドサービスなどをご利用いただき、日本のファンを増やしてゆくことで、観光立国づくりの一助となるよう取り組んでまいります。



ドミトリータイプ(相部屋スタイルの客室)

2017年

1月

2月

3月

3/1 貸会議室事業が新規2拠点開業 ～ビジョンセンター田町・ビジョンセンター横浜～

貸会議室事業は、ビジョンを「ビル空間と時間の価値最大化で、地域社会の発展に貢献」と定め、2015年4月に「ビジョンセンター東京」を開業して以来、都心部のオフィスビルについて、そのポテンシャルを最大限に引き出し、ビルオーナー様やビルの入居者様はもちろんのこと、地域社会に貢献できる最適用途の追求を目指してまいりました。「ビジョンセンター東京」は事業開始から半年で単月黒字化し、さらに都心部に強い土地勘をもつ賃貸仲介部門からの紹介により、神田・新宿などの好立地での後続案件が続々と稼働してまいりました。

そしてこの度、新たに「ビジョンセンター田町」と「ビジョンセンター横浜」が開業し、計6拠点へ拡大。次なる拠点も都心部に計画中です。

今後も当社グループの力を結集させ、既存の枠にとらわれない空間・時間活用のサービスづくり、商品づくりを目指してまいります。



ビジョンセンター田町

ビジョンセンター田町 貸会議室内
最大150名を収容可能

ビジョンセンター横浜

4/28 自社ホテルブランドの第1号店が開業 ^{ひより}～日和ホテル舞浜～

当社グループ初となる自社ホテルブランドである「日和ホテルズ&リゾート」の1号店として「日和ホテル舞浜」を開業いたしました。

舞浜テーマパークから車で5分の場所に位置する「日和ホテル舞浜」は、「心温かい優しいホテル」をコンセプトに、お客様に心からリラックスしていただき、滞在時間を楽しく過ごすことができる創意工夫を凝らしています。主たるお客様を「ファミリー、女子会、カップル」と定め、お子様も素足で動き回れる琉球畳を敷いた客室、部屋と部屋を繋げて複数のご家族・グループでお使いいただけるコネクティングルーム、女性が手ぶらでお越しいただけるほどに充実したアメニティや備品の数々。全室にヘアアイロンや足裏マッサージ器、靴乾燥機もご用意しています。さらにチェックイン時に選べる「HAPPYプレゼント」や、高級枕を無料で借りられる「枕パー」を設置するなど、お越しいただくお客様お一人おひとりに、パーソナルなおもてなしを感じていただける、「心温かいホテル」を開業いたしました。



琉球畳のツインルーム



ロビー



朝食バイキング

4月

5月

6月

4/3 五反田エリアに新支店を出店

この度出店した五反田エリアは、「JR町駅～品川駅」間に計画の中の新駅の開設による影響で、オフィス街としてのさらなる発展が期待されているエリアです。また、新線「JR羽田空港アクセス線」の計画により、東京駅・新宿駅・新木場駅から羽田空港への直通運転が可能となることから、同エリアへの注目度が高まることが予想されます。

新店では、より深く地域に密着し、地域に根ざした土地勘を強みに、不動産に関するあらゆるお困りごとと解決への取り組みを通じて、地域のお客様に愛されるお店を目指してまいります。



五反田新店のメンバー

6/6 ダナンにて分譲マンションが着工 ～HIYORI Garden Tower～

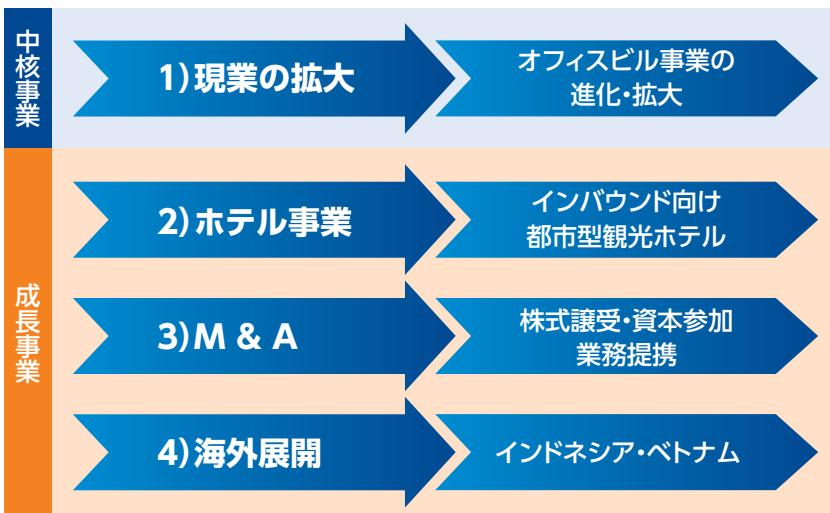
本プロジェクトはダナン市中心部に当社グループが独資で開発・販売する高層分譲マンションプロジェクトであり、ダナン市において日系企業独資の分譲マンションとしては初のプロジェクトとなるものです。ダナン国際空港から市中心部、観光名所・ドラゴン橋そして国際的なリゾートホテルが立ち並ぶミーケビーチを貫くヴォーバンキエト通りに面した極めて利便性の高い立地が特徴です。地上28階建(306戸)の高層マンションは視認性が高く、市内の新たなランドマークとなるプロジェクトです。きめ細かさや洗練さを備えた内装デザイン・仕様設備や市内全域を見渡せる眺望など、随所に“日本クオリティ”を取り入れた商品は、現地の富裕層をはじめ、海外投資家の方々のご購入ニーズに十分お応えできるものと考えております。完成予想パース



成長戦略「4本の矢」をさらに加速

中長期的な成長を目指し、当社グループは成長戦略「4本の矢」を放ち、中核のオフィスビル事業を拡大するとともに、将来の当社グループの柱となる事業として、引き続き「ホテル事業」と「海外事業」を推進いたします。

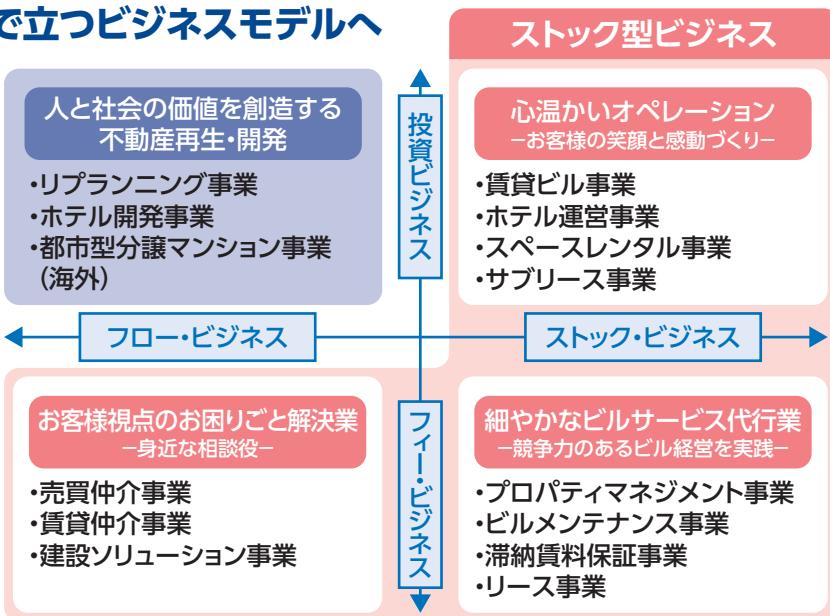
不動産活用のプロフェッショナルとして、常にお客様視点での最高のサービス、高い付加価値の商品づくりを創意工夫で徹底的に追求するとともに、規律ある組織を構築し、品質の向上に努めながら、現状にとどまることなく、新たな事業に果敢に挑戦していくことで、高収益企業として堅実な成長を図ってまいります。



「フロー」と「ストック」の両足で立つビジネスモデルへ

さらに、リプランニング事業で再生した物件の売却益に偏った収益構造から、不動産市況の動向に左右されにくい収益を伸ばしていくことで、**安定的な収益構造への転換を推進**してまいります。

賃料収入やビル管理受託のように、毎月の収益が固定的で安定した事業を積み上げていくことに加え、**ホテルや貸会議室の運営に代表される、運営能力だけで収益の向上が図れるオペレーション事業に取り組む**ことで、「お客様に寄り添うストック型ビジネス」を強化してまいります。



安定的な成長を継続し、果敢に挑戦

2018年3月期の連結業績は、売上高50,000百万円(前期比23.8%増)、営業利益10,500百万円(同11.9%増)、経常利益10,000百万円(同12.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益7,000百万円(同8.5%増)を、配当については2円増の1株当たり32円を予定しています。

当社グループは、不動産活用のプロフェッショナルとして、常にお客様視点で最高のサービス、高い付加価値の商品づくりを創意工夫で徹底的に追求することで、中核事業であるオフィスビル事業をさらに拡大させてまいります。そして将来の当社グループの柱となる事業として、引き続きホテル事業と海外事業を推進し、ストック型ビジネスで安定的な成長を継続しながら、現状にとどまることなく新規事業にも果敢に挑戦してまいります。



写真左から、代表取締役副社長 齋藤 清一/
代表取締役社長 堀口 智嗣/専務取締役 中村 泉/
常務取締役 山田 康志

連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)



利益配分に
関する基本方針

長期的かつ安定的な利益還元により、株主様の利益に資する

当社グループは、①株主様への長期的かつ安定的な利益還元に努めるとともに、②将来の成長に向けてホテル事業や海外事業に積極果敢に挑戦する投資資金を確保すると同時に、③財務の安定強化も勘案し、総合的に株主様の利益に資することを基本方針としております。

1株当たり当期純利益と配当金の推移



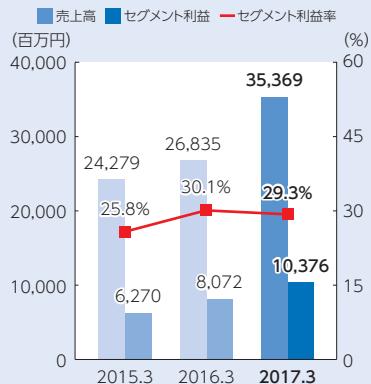
株主優待について

当社グループ初の自社ブランドホテル『日和ホテル舞浜』の宿泊ご優待券をご用意いたしました。皆様のご来館をお待ち申し上げます。



事業別概要

不動産再生事業



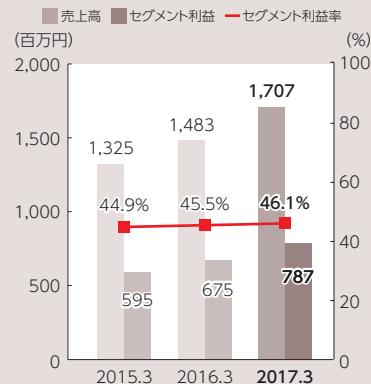
商品化や仕入のプロセスで創意工夫を積み重ねるとともに、顧客への直接販売が増加し、引き続き利益率は高い水準を継続。

仲介事業



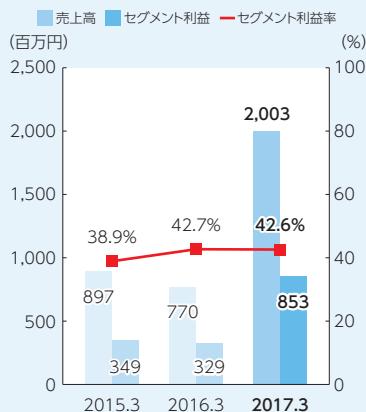
売買仲介は上半期の落ち込みを挽回できず、売上高・利益ともに減少。賃貸仲介はお客様視点のお困りごと解決に注力し、売上高・利益ともに増加。

プロパティマネジメント事業



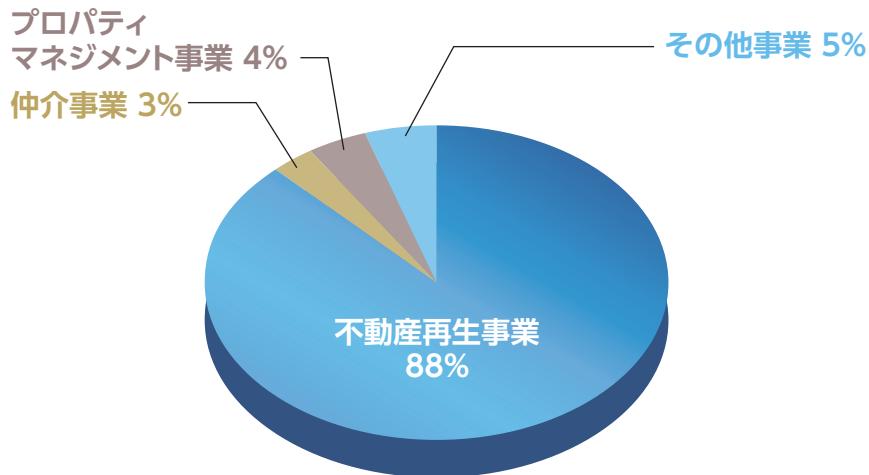
管理受託棟数は前期末に比べ+29棟の362棟となり、稼働率は96%を超える水準で推移。売上高・利益ともに着実に増加。

その他事業



ホテルや貸会議室の運営事業に代表されるストック型事業のセグメント利益が前期比2.6倍に拡大。

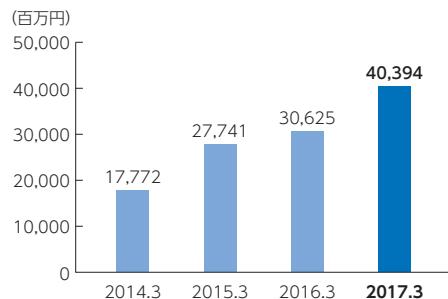
セグメント別売上高構成比



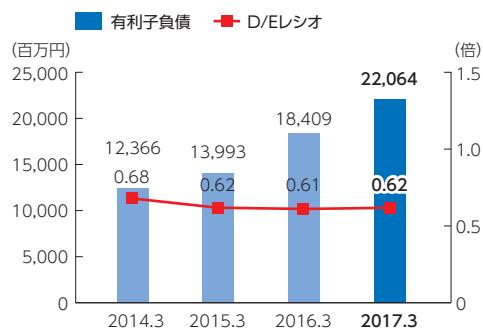
事業別業績に記載している「セグメント利益」は、売上総利益から支払利息、販売手数料、のれん償却等各事業で発生する固有の費用を差し引いて算出しています。

財務ハイライト

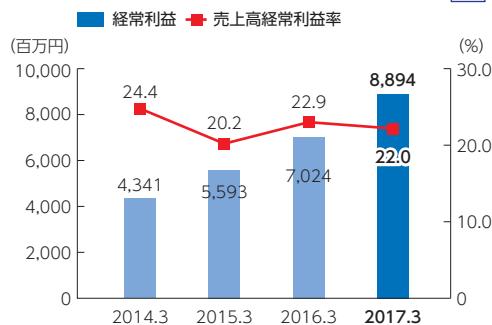
■ 売上高



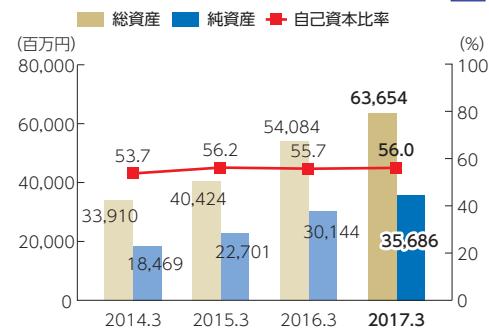
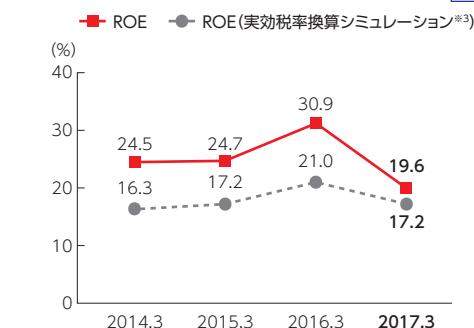
■ 親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益

■ 有利子負債・D/Eレシオ^{※1}

■ 経常利益・売上高経常利益率



■ 総資産・純資産・自己資本比率

■ 自己資本当期純利益率 (ROE^{※2})

ポイント 1

売上高経常利益率は、不動産業界の平均値が10%程度なのに対し、当社は20%以上の高水準で推移しています。

ポイント 2

自己資本比率は、業界平均が30%程度なのに対し、当社は50%以上の高水準で推移しています。

ポイント 3

ROEは、業界平均が8%程度なのに対し、当社は20%程度の高水準で推移しています。

※1 D/Eレシオは有利子負債/自己資本で計算され、財務の健全性を表す指標です。 ※2 ROEは当期純利益/自己資本(期首期末平均)×100で計算され、資金の効率性を表す指標です。

※3 実効税率換算後…税務上の繰越欠損金による税金の負担軽減の影響を排除し、各事業年度の実効税率(2017.3期は30.86%)が課税された場合の試算です。

財務情報の詳細はホームページをご覧ください

サンフロ IR

検索

株式情報

発行可能株式総数 91,200,000株
発行済株式総数 42,755,500株
株主数 9,229名

■大株主の状況(上位10名)

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%)* |
|--|------------|----------|
| 株式会社報恩 | 17,957,500 | 42.00 |
| 堀口 智顕 | 3,005,200 | 7.03 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,845,100 | 4.32 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,399,900 | 3.27 |
| MSCO CUSTOMER SECURITIES | 461,200 | 1.08 |
| KBL EPB S.A. 107704 | 401,700 | 0.94 |
| 堀口 恵子 | 399,000 | 0.93 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 390,200 | 0.91 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1) | 353,900 | 0.83 |
| VICTORY TRIVALENT INTERNATIONAL SMALL-CAP FUND | 330,300 | 0.77 |

※小数点第3位を四捨五入して表示しています。
持株比率は自己株式(143株)を控除して計算しています。

■所有者別株主分布状況(株式数ベース)



(2017年3月31日現在)

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
上記の基準日 3月31日
公告掲載方法 電子公告(当社ホームページ)
ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先 【ご照会専用ダイヤル】
☎ 0120-288-324

会社概要

社名 サンフロンティア不動産株式会社(証券コード:8934)
本社 〒100-0006
東京都千代田区有楽町一丁目2番2号東宝日比谷ビル
TEL.03-5521-1301(代)
<https://www.sunfrt.co.jp>
営業所 銀座店、日本橋店、神田店、麹町店、新宿店、渋谷店、
五反田店*1、横浜店 *1 五反田店は2017年4月3日開設
資本金 8,387百万円
従業員数 329名(連結)
役員 代表取締役社長 堀口 智顕
(2017年6月23日現在) 代表取締役副社長 齋藤 清一 副社長執行役員 齋藤 清一*2
専務取締役 中村 泉 専務執行役員 中村 泉*2
常務取締役 山田 康志 常務執行役員 山田 康志*2
取締役(社外) 高原 利雄 執行役員 本田 賢二
取締役(社外) 久保 幸年 執行役員 二宮 光広
常勤監査役 大澤 伸次 執行役員 野崎 勇司
監査役(社外) 加瀬 浩吉 *2 取締役との兼務を示しています。
監査役(社外) 守屋 宏一

主な連結子会社 サンフロンティアホテルマネジメント株式会社
スカイコートホテル株式会社
サンフロンティアコミュニティアレンジメント株式会社
SFビルサポート株式会社
株式会社ユービ
東京陽光不動産股份有限公司
SUN FRONTIER VIETNAM CO., LTD.
PT.SUN FRONTIER INDONESIA